

社会福祉施設と福祉避難所に関する協定を締結

●問合先 市役所介護福祉課 内線 177

福祉避難所とは、介護が必要な高齢者や障がいのある方など一般の避難所での共同生活が困難な方が、安心して避難生活を送ることができるよう特別の配慮がある避難所のことです。

市は、次の社会福祉法人と協定を締結し、3か所の施設に福祉避難所として協力いただくことになりました。災害時に、避難所の生活で特別な配慮が必要な在宅の要介護高齢者や障がい者をサポートします。

◎社会福祉法人 峰林会

特別養護老人ホーム峰林荘 野木崎 1931

☎ 48-3587

◎社会福祉法人 英伸会

特別養護老人ホーム七福神 高野 1755-1

☎ 45-3580

◎社会福祉法人 筑桜会

障害者支援施設さくら荘 大木 129-2

☎ 48-6288

地域で安全・安心なまちづくりを目指して

●問合先 市役所交通防災課 交通・防災G 内線 138

●原科防犯指導員コラム

情けは人のためならず

去年のコラムで、「振り込め詐欺防止には、子が親に『お金の電話はしないからね』と前もって話しておくことが一番」と書きました。

しかし、振り込め詐欺は今でも被害が発生しています。どこの家庭でも同様の対策をしても、手口は多様化しており、犯罪に巻き込まれてしまう可能性があります。

そのような中、牛久市内の60代女性が“だまされたふり”をして警察に通報し3人の犯人が逮捕されたという記事が目につきました。

この「犯人をだまして逮捕してもらおう」というお手柄が多く市民に広がれば、犯人側に「おびき出されて逮捕されるかもしれない」という強い不安により、犯罪を踏みとどまらせることができると思います。

犯人も逮捕のリスクを避ける対策はしており、親玉までたどり着くのは大変だと思いますが、多くの方に協力していただき、犯罪被害者を減らしていきたいと考えています。

今後とも、防犯関係者各位と協力し、市民の皆さんに語りかけていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

まずは手始めに、妻に話したところ「いいよ。でも演技力も必要だね」と乗ってくれました。一週間後「近頃、誰からの電話でも疑うようになった」という言葉を聞き、「積極的に考えるといういろいろな効果がある」と再認識…どうですか？皆さんのご協力をお願いします！！

●市内の犯罪発生状況（平成25年1月～5月）

前年同時期と比較し、刑法犯総数は減少しています。特に「空き巣」は、減少していますが、外出時のカギ掛けを徹底するのはもちろんのこと、被害を未然に防ぐため、防犯対策を皆さんで心掛けましょう！

※（ ）内の数字は、前年1～5月との比較

発生地域	刑法犯総数	街頭犯罪	住宅侵入犯罪	万引き	その他の犯罪
①	182 (△32)	66 (△3)	22 (△17)	42 (+8)	1 (±0)
②	58 (△29)	28 (△8)	7 (△4)	1 (△1)	0 (±0)
③	45 (△6)	19 (△1)	6 (±0)	4 (+1)	0 (±0)
合計	285 (△67)	113 (△12)	35 (△21)	47 (+8)	1 (±0)

街頭犯罪内訳

発生地域	乗り物盗			ひったくり	車上狙い
	自動車盗	オートバイ盗	自転車盗		
①	13 (+10)	4 (△1)	37 (△5)	2 (+1)	10 (△8)
②	2 (△4)	5 (+3)	17 (△9)	0 (±0)	4 (+2)
③	1 (△1)	3 (+2)	10 (△1)	0 (±0)	5 (△1)
合計	16 (+5)	12 (+4)	64 (△15)	2 (+1)	19 (△7)

▶発生地域区分

- ①本町、松並、ひがし野、赤法花、百合ヶ丘、中央、松ヶ丘、大柏、野木崎
- ②久保ヶ丘、御所ヶ丘、立沢、松前台、薬師台、緑、板戸井、大木、大山新田
- ③みずき野、小山、乙子、けやき台、高野、鈴塚、美園

守谷市の交通事故発生状況（6月）

件数 14 件

死者数 0 人

負傷者数 16 人